

令和3年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業

(難治性疾患政策研究事業)

「先天性心疾患を主体とする小児期発症の心血管難治性疾患の救命率の向上と生涯にわたる QOL 改善のための総合的研究」

分担研究報告書

分担研究者 兵庫県立こども病院 循環器内科部長 城戸佐知子

『成人先天性心疾患診療に携わる循環器内科医へのインタビュー』

【研究目的】

現在、日本成人先天性心疾患学会を中心に診療体制が整いつつあり、先天性心疾患診療に携わる成人循環器内科診療施設・医師も少しずつではあるが、増加している。しかし、本来、小児期からスタートした疾患・患者に対する対応は、小児科医と循環器内科医では大きく異なっていることは、実際に我々医療者も感じることであり、患者もまた小児科から内科への転科・医師の変更に違和感を覚えていることも確かである。このことが狭義の移行、すなわち転院の妨げになっているとまでは言えないかもしれないが、少なくともそこには心理的な障壁になる一因があると思われる。

研究者は2013年より、神戸大学附属病院循環器内科および兵庫県立姫路循環器病センター(現・兵庫県立はりま姫路総合医療センター)の循環器内科診察室で循環器内科医と同じ診察室で患者診療を行ってきたが、その現場で感じたのは、以下のようなことであった。

- ①小児科の診察室で感じる以上に、循環器内科の診察室で患者の両親の存在は大きい(と循環器内科医は感じているであろう。小児科医は慣れてしまっていて違和感を覚えにくくなっている)。
- ②小児科医が患者に説明したと思っていることは、患者は大概理解していない。循環器内科医の質問に対しての返答は曖昧なことが多い(個人差は大きい)。
- ③循環器内科医は思った以上に柔軟に対応してくれているが、病歴が長く、また治療の歴史も変化している中での患者の背景の理解は困難な面が多い。
- ④そもそも循環器内科医はそれぞれ異なる専門分野(カテーテル、心臓超音波検査、など)を持ち、その専門性を活かしながら診療に従事しているが、その中で先天性心疾患を専門にする意義があるのか。彼らのキャリアの中では、先天性心疾患を専門にすることの弊害はあるのではないか。

こうした経験から、循環器内科医の本音はどうか? と疑問を感じるようになった。そこで、現在の成人先天性疾患診療体制における問題点や課題を再考し、よりよい診療体制を構築するための参考にするという目的で、先天性心疾患診療に携わる循環器内科医に、診療の現状、地域の状況、診療に携わるようになった経緯や感じていることなどをインタビューすることとした。

## 【研究方法】

インタビューをお願いする循環器内科医は、比較的長期（少なくとも5年以上）に成人先天性心疾患診療に携わり、専門の外來を持っている医師とした。インタビューに際しては、できる限り、研究者が現地を訪問し、診療環境なども視察する形を考えていたが、思った以上に長引く新型コロナウイルス流行対策のために現地訪問が難しく、一部を除いてwebによる面談を行うこととなった。

インタビューの内容は、おおむね以下の通りであるが、個別の想いをできるかぎり拾い上げ、現状に即した問題点を見いだすことができるようにと心掛けた。

## 【インタビュー内容】

- ①施設および地域の診療状況：施設で成人先天性心疾患診療が始まった経緯、その地域全体の中での循環器内科診療環境
- ②当該医師が先天性心疾患診療に携わるようになった経緯・循環器内科医としてのヒストリー
- ③現在の診療状況（診察に携わる医師の数やチームの状況）：施設内に小児循環器医の有無・関係性。循環器内科全体としての成人先天性心疾患診療に前向きなのかどうか。他科・他診療部との連携状況。循環器内科が先天性心疾患を診療しているということの院内での認知度・宣伝。
- ④実際の診療内容：外來の状況・人数、紹介

患者の経路、どういう施設から紹介があるのか。地域全体に宣伝は行っているか。入院状況。

⑤成人先天性心疾患診療を始めて印象に残っていること・よかったこと・困ったこと。この診療に時間がとられることで、他の循環器内科医との間に問題は起こらないか、当直や救急の当番など。

⑥実際に何歳くらいまで、何歳から、という点に関して率直な意見。

⑦今、小児循環器内科医に言いたいこと、患者に言いたいこと、同僚の循環器内科医に言いたいこと、政治・制度の問題や期待すること。医療費や採算の問題。

⑧「移行」について思うこと。

## 【インタビュー①】

- ・横浜市立大学循環器内科 仁田学先生
- ・インタビュー内容省略（インタビュー終了・文字興しずみ）

## 【インタビュー②】

- ・神戸大学循環器内科 福田旭伸先生
- ・インタビュー日程：6月上旬  
(以下、調整中)

## 【インタビュー③】

- ・信州大学循環器内科 元木博彦先生
- ・日程未定

## 【インタビュー④】

- ・九州大学循環器内科 坂本一郎先生
- ・日程未定